

令和3年度 調査研究委員会事業報告

1. 活動テーマ

会員による研究活動の推進

2. 目的

調査研究事業をとおして保健師の専門性を確保し、保健師の資質向上と保健師業務に係る課題に対して、全国保健師長会調査研究事業（独自事業）の実施により、保健師活動の専門性を高めた活動の推進を図る。

3. 実施内容

回	時期	場所	内容
1	令和3年 4月24日（金）～ 4月27日（月）	メール会議	第1回調査研究委員会 (1) R3年度調査研究事業について (2) R2年度調査研究事業について
	12月21～23日		第80回日本公衆衛生学会総会での調査研究事業（独自事業）に関するブース展示枠（本年度：ポケットプログラムに研究事業募集に関する広告を掲載）
	令和4年 1月初旬	メール会議	2022年度（令和4年度）調査研究事業募集要綱作成について
2	令和4年 3月20日（日）	オンライン 開催	第2回調査研究委員会 (1) R4年度調査研究事業の選定 (2) R3年度調査研究委員会報告書への意見について（案） (3) その他

4. 結果・課題

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い現場業務繁忙により応募が1件となった。コロナ禍において求められる保健師活動を推進するための課題は多く、会員に保健師のリーダーとして必要な研究に積極的に取り組んでもらえるよう引き続き広報したい。

この5年は人材育成等類似するテーマの応募が多かったが、健康危機管理として新型コロナウイルス感染症に対峙した保健師活動については、記録としても保存しておく必要あり。第80回日本公衆衛生学会総会（オンライン）では、全国保健師長会及び調査研究事業についてポケットプログラムに調査研究事業について掲載し、広く周知を図った。

5. 委員

- 委員長 吉田 知可 大分県健康づくり支援課 健康寿命延伸班 主幹
福原 円 栃木県小山市健康増進課 課長
齊藤富美代 埼玉県狭山保健所保健予防推進担当 副所長
畑農 文 福岡県精神保健福祉センター 社会復帰課 課長
オブザーバー 田高 悦子 北海道大学大学院 保健科学研究所 創成看護学分野 教授
オブザーバー 北岡 英子 湘南鎌倉医療大学 看護学部公衆衛生看護学領域 教授